

(様式3)

令和3年度
新潟市立幼稚園・小・中学校授業改革パイロット校園事業【課題1】実践事例

【目指す資質・能力を育成する保育の質的な向上】

友達との関わりを楽しみ、自らやりたいことに取り組む子どもの育成

～自分で考えてやってみようとする力を育む教師の援助の在り方を探る～

新潟市立新津第一幼稚園 園長 間嶋 哲

1 「目指す資質・能力を育成する保育・授業の質的な向上」における自校の課題

当園の子どもは、友達との関わりを楽しみながら、教師が用意した物や状況、設定した活動や課題に対しては、自ら取り組む。一方で、取り組む過程において、「①自分で」「②考えて(判断して)」「③行動する(表現する)」「④伝える(表現する)」「⑤聴く」ことに関して課題があった。

具体的には、

- ・ 教師からの働き掛けを待つ受け身な姿が多い。(「①自分で」「②考えて(判断して)」の課題)
- ・ 自分のやりたいことを実現するための「知識」や「技能」が少なく、自信をもって取り組むことが難しい。(「③行動する(表現する)」の課題)
- ・ 少人数で、どの子の声も聞こえやすいため、「話したい」「伝えたい」という意欲が低く、話したり相手の話を聞いたりする経験が少ない。(「④伝える(表現する)」「⑤聴く」の課題)等である。これらは、アプローチカリキュラム実践及びスタートカリキュラム接続上の課題でもあり、接続期以前の保育の充実が必須であると考えた。

2 研究実践の内容(課題解決のための方策・検証方法)

(1) アプローチカリキュラムにおける援助や環境構成についての明確化を図る。

「自分で」「考えて」「行動する」「伝える」「聴く」事例を収集し、有効な援助や環境構成について検証する。

(2) 接続期以前の「経験してほしい重点」「内容」等の明確化を図る。

短期指導計画の形式を工夫し、接続期以前の「重点」「内容」「援助」を短期指導計画に位置付け、振り返りを行いながら、検証する。

(3) 幼小連携に取り組む教職員の協働性を高める。

園教員の他、小学校教員と共に事前・事後の検討を含めた保育研修を行う。

3 実践

(1) 短期指導計画の形成の工夫

自園の「重点」「内容」「援助」の明確化を図るため、新潟市共通接続期カリキュラムを基に短期指導計画の形成を工夫する。

	12日(月)	13日(火)	14日(水)	15日(木)	16日(金)
おやつ開始					
【子どもの実態】	<ul style="list-style-type: none"> ○ 家庭で遊んだことのあるおもちゃや遊びを見つけ、短い時間楽しむだろう。おやつを食べたり、教師と手遊びなどの楽しいことをしたりする中で、短い時間を和ませるだろう。 ○ 生活習慣は、教師に一つ一つ教えてもらいながら、園でのやり方を知っていくだろう。 ● 新しい環境や母親と離れることに不安を感じ、それぞれのやり方で表すだろう。家庭と違う環境に興着し、動き回ったり、保育室から出て行ったりする姿も予想される。 				
ねらい	◎ 幼稚園の生活を知り、教師に親しみの気持ちをもつ。				
内容	<ul style="list-style-type: none"> 互いの思いや考えを共有したり、折り合いを付けたりする。【3協同性・4道徳性・規範意識の芽生え】 	<ul style="list-style-type: none"> 意思表示ができることともに、言葉を通して思いを伝え、相手の言葉を理解する。【9言葉による伝え合い】 	<ul style="list-style-type: none"> 成長を自覚し、小学校生活に期待をもつ。【2自立心・5社会生活との関わり】 		
	<ul style="list-style-type: none"> 教師の手遊びを見たり、歌を聞いたりしながら、教師に親しみの気持ちをもつ。 教師の位置に配置する。常に全体が見えるように位置し、子どもたちが不安にならないようにする。 一人一人が安心して目に 	<ul style="list-style-type: none"> 不安な気持ちやうれしい気持ちをありのままに表す。 一人一人の姿を受容しながら、話を丁寧に聞いたり声を掛けたりすることで、子どもが教師に対し、自分の思いを安心して出せるようにす 	<ul style="list-style-type: none"> 教師と一緒に支度をしながら、自分のマークや荷物を始末する場所を知る。 絵表示を活用することで、自分で考え行動しやすい環境を整える。 子どもたちが安心して過ごせるよう、保育室の中は 		

記載。○新潟市の重点がかわる力の基盤として

成果

5歳児だけでなく3、4歳児の時期から、接続期までの発達の方向性を意識しながら、それぞれの時期にふさわしい「重点」「内容」「援助」を考えるようになった。

課題

保育を行う上で「幼児期の終わりまでに育ってほしい(10の)姿」のうち、新潟市の重点にはない4つの視点(①健康な心と体⑥思考力の芽生え⑦自然との関わり・生命尊重⑧量・図形、文字等への関心・感覚⑩豊かな感性と表現)も非常に重要であり、指導計画には必要不可欠であることを実感した。



形式を再度改善する

<再改善後>

3歳児年少組 短期案 令和4年2月7日～2月18日									▽ 人権に関わる内容	
7日(月)	8日(火)	9日(水)	10日(木)	14日(月)	15日(火)	16日(水)	17日(木)	18日(金)		
					年中リハーサル	年少リハーサル	年中発表会	年少発表会		
【子どもの実態】										
○ オニになったつもりで怖そうな声を出したり、動いたりして遊んでいる。オニになった友達や教師と追い掛け合ったり、豆を投げたりし関わって遊ぶことを楽しんでいる。										
○ クラスみんなで集まり、簡単な劇遊びをしながら、自分のなりたい動物になったつもりで動くことを楽しんでいる。										
ね ら い ◎ クラスみんなで簡単なストーリーの中で遊びながら、なりたいたいものになりきって、動いたり話したりする。										
【3歳同性・4歳同性・原級混雑の芽生え】			【9歳児による伝言音】		【健康な心と体・自立心・社会生活との関わり】		【思考力の芽生え・「自然との関わり・生命尊重・量・図形、文字等への関心・感覚】		【10豊かな感性と表現】	
内容 ・ クラスみんなで楽しく劇遊びをする。 ・ 友達の様子を見て、自分もやってみようとする。			内容 ・ 劇遊びの中で、友達と、短い決まった言葉のやりとりをする。		内容 ・ 年中組の発表会を見せてもらったり、自分たちも見てもらったりし、交流する。		内容 ・ 水や雪、水栽培の植栽物に触れ、感じたことを言い表す。		内容 ・ 自分のなりたいたいものになりきって、動いたり話したりする。 ・ のびのびと歌ったり踊ったり、楽器遊びをしたりする。	
□ 子どもたちが楽しんでいる遊びや、大好きな絵本の場面をつなぎ、劇遊びをつくっていく。話の内容を整理し、どの子にも理解しやすく安心できる内容にすることで、クラスみんなで遊ぶ楽しさにつなげていく。 □ どの子もなりたいたいものになって関わっていけるような場を保育室に設定し、クラスみんなでその場に関わりながら遊ぶ楽しさが生まれるようにする。(大輪、電車等) ○ 子どもたちがいつもの気分で作る姿を教師もまわって一緒に楽しみながら、表現の面白さを周りの子どもたちにも伝え、やってみたい気持ちを高められるようにする。			□ 劇遊びでは、決まったフレーズや言葉のやりとりを楽しみながら、どの子も安心して声を出せるようにする。 ○ 職員室や他のクラスへのおつかいなどの場面で、「失礼します」「～してださい」といった生活に必要な		□ 年中組の発表会のリハーサルを見せてもらうことで、劇遊びの楽しさを感じ、自分たちもやってみようという気持ちと、年中組への憧れの気持ちを高められるようにする。また、自分たちの発表会を異年齢児に見てもらうことで、うれしい気持ちを感じられるようにする。		□ 水や雪、水栽培の植栽物を触れ、感じたことを言い表す。 □ 水や雪などタイミングを逃さず触れられるようにする。また、子どもたちが感じて言い表すことを教師が受け止め、共感していく。 □ 保育室の目に触れやすい位置に水栽培の植栽物を設定しておく。子どもの気付きを受け止めたり、教師からも言い表したりすることで、生活の機軸により興味をもてる		○ 子どもたちがなりたいたいものになって動いたり、歌ったりする姿を教師が受け止め、認めることで、自信をもち、自分なりに表現する楽しさを感じられるようにする。 □ なりきって表現することを楽しめるよう、ピアノやCDの効果音、動きを引き出すような言葉掛けを工夫する。 ○ 教師が楽しく歌ったり踊ったりする姿を見せながら繰り返し一緒に楽しむことで、教師や振り付けを覚え、自信をもって取り組めるようにする。子どもと振り付けを考えながら、新たな表現の楽しさを加え	

改善点

①健康な心と体⑥思考力の芽生え⑦自然との関わり・生命尊重⑧量・図形、文字等への関心・感覚⑩豊かな感性と表現を新たに追加した。

成果

「幼児期の終わりまでに育ってほしい姿」の全ての視点を意識して、それぞれの時期にふさわしい「重点」「内容」「援助」を考えるようになった。

(2) 「自分で」「考えて」「行動する」「伝える」「聴く」ための有効な援助や環境構成についての検証

① 紙面による事例収集及び検討

- 文章化することで、教師の援助がどうであったか、また一人一人の内面について、じっくり省察することができた。

令和3年度3歳児年少組 エピソード記録 No.5
「コウモリをやっつけるぞ」

保育日 令和3年9月14日
保育者

1 本時の環境及び本時目指した「自分で考えやってみようとする」幼児の姿とは

〈そのための環境構成・援助〉

物的環境が、子どもの動線上の目に入りやすい位置にあったことが効果的だった。少し挑戦すれば届きそうな高さに設定されていたことも、意欲を引き出した。



って投げる姿。

- 絵本に登場する「ギャングコウモリ」をかたどった的。
- ポールの入ったかごや、製作したトンボを目に付く位置に出した。

的あてのボールの種類を選べるようにするとよい。(大きさや触りたくなる素材)子どもが選べる環境にするとよい。



2 保育の実際

7日、「とんぼの運動会」(『物的環境』)の読み聞かせをした。8日、製作したトンボ(『物的環境』)で遊んでいると、が「暗くなるとコウモリが来るよ。」と言った。これ聞いたが、「そしたら、僕がこれで作ってあげよう。」と教師がコウモリ(『物的環境』)を作らせてあげようと言った。教師が「コウモリを作らせてあげよう。」と言ったことをきかから下げると、がコウモリ的にボールを投げて遊び始めた。金色のボンボン(『物的環境』)を持ち、が近付いてきて、「花火でやっつけるぞ。」と、花火のボンボン考えた。」と言って、ボンボンをボールにこすりつけるようにし、「少して玉を、『』って言っているよ。」と言った。教師は笑顔見ていたえいともほるまと同じようにし、「焼いちやうぞ。」と言って投じた。がうれしそうに、「コウモリ、やけどしたって。」と言った。それから二人で何度か繰り返して、玉が当たるたびに「やった。」と喜んだ。少ししてが、「コウモリ、やられたって。」と言ったので、教師が壁からの的をはずすと、「やっつけたぞ。ばんざーい。」ととが飛び跳ね喜んだ。

3 成果(有効であった教師の援助のポイント)

- 『物的環境』…数日前から、バスケットゴールに見立てた物を壁からぶら下げ、玉投げができるよ

② 動画を活用した事例収集及び検討

- 感じたことや気付いたことを言いやすく、その場で気軽に意見交換できた。
- 担任は主観的に自身の保育を振り返りがちだが、動画により、客観的かつ様々な角度から捉えることができた。

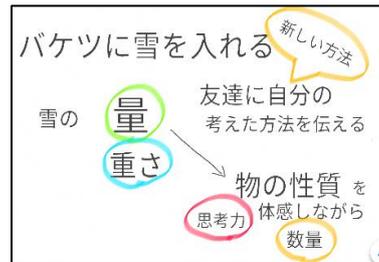
遊びながら、雪の深さや重さを体感し、雪の性質を感じている。可塑性のある素材ゆえ、思考を引き出しやすい。
10の姿の(6)(7)

雪に触れて感じたことを友達に伝えている。「豊かな感性と表現」の姿が育っている。
10の姿の(9)(10)



バケツの種類を選べるようにすることで、試したり考えたりする姿をもっと引き出せるのかもしれない。

- ジャムボードを活用し、話し合った内容を画面上で共有することで、援助のポイントを、その場で共通理解することができた。



③ 研究保育

- 外部の指導者や小学校教員、近隣園の職員にも研究保育や協議会に参加してもらったことで、有効な援助や新たな視点に気付くことができた。

研究保育（3歳児）の様子

令和3年12月17日実施

【本時のねらい（○）、経験してほしい内容（・）】

- クリスマスの雰囲気を感じながら、動物やサンタクロース、お店屋さんなど、自分のなりたいもののもりになって遊ぶことを楽しむ。
 - ・ 自分のなりたいもののもりになって、動いたり話したりして遊ぶ。
 - ・ 見たりまねたり、友達の姿を意識しながら、自分のやりたいことをする。

【協議会より】

- ・ 子どもにとって、遊び自体が目的である。遊びは子どもにとって自発的なものであり、自由感の中で楽しさ、面白さを追求する活動である。それが深まることによって、子どもが遊び込む姿へとつながっていく。
- ・ 子どもは、夢中になって遊び込むことにより、遊びの中で様々な気付きや発見、感動や喜びといった体験につながっていく。こうした遊びの中でこそ、創造的思考力や探究的思考力、共感的思考力等の、小学校以降での考える力の芽生えにつながっていく。
- ・ 3歳児では、繰り返しの遊びの中で変化を感じたり体感する面白さを味わったりすること、自分と同じことをしている他者の存在の心地よさを感じることで、自己実現する喜びを感じるようになってくる。しかし、本時の保育の中では、自己実現する喜びを感じる機会が少なかったように思われる。
- ・ 自己実現をする場面として、本時においては、見立てたり、なりたいものになって遊んだりすることであった。そのため教師の感性豊かな言葉掛けや、子どもたちがわくわく、どきどきするような教師の遊び心が不足していたことにより、自己実現による満足感を得られる機会が少なくなったように思われる。また、抽出児への援助において、その子に自信をつけたいという願いをもっていたにもかかわらず、見守りや保障する援助が少なく、教師が直接的に援助することが多かった。一人一人へのねがいや意図に基づく援助の選択と実行を行っていくべきである。
- ・ 子どもが満足感を得ながら遊びを通して経験を重ねていくためには、子どもが心を動かすような教師の遊び心や感性豊かな言葉掛けが大切である。そして、子ども一人一人の力を信じて見守り、じっくりと人やものに関わる時間を保障していくことが、子どもの自信や体験の伴った経験になっていく。
- ・ ご指導の際、本時の保育で子どもが経験していたことを「10の姿」の視点から教えていただいた。自園で作成している接続期前カリキュラムを加筆修正する必要性を感じた。



(3) アプローチカリキュラムの加筆修正と接続期前カリキュラム(「3歳児」「4歳児」「5歳児(4~8月)」)の作成

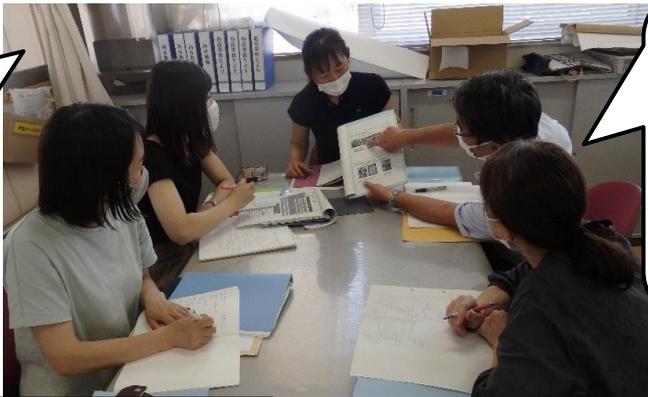
① アプローチカリキュラムの加筆修正

小学校教員とともに改善点を話し合い、アプローチカリキュラムに取り入れることで、保育の改善を図った。

～どの職員が年長組担任になっても、接続期に大切にしたい内容が明確になるように～

- ・「新潟市の重点」との関連性が分かりにくい。
- ・活動ありきにならないよう「内容」の精選、整理、明確化が必要。
- ・幼児教育で重要な「教師の姿勢」が必要なのでは。

幼稚園で生活スキルを身に付けてくるため、自分のことを自分でできることが、入学期の安心感につながっているようです。



「呼ばれたら返事をする」「自分から挨拶をする」「困ったことや分からないことがあったら自分から聞く」など、もっと幼稚園のうちに身に付けられる部分かもしれません。早速保育に取り入れます。

<p>【① 言葉による伝え合い】</p> <p>成長を自覚し、小学校生活に期待をもつ。 【2 自立心、社会生活との関わり】</p>	<p>行事等の計画</p> <p>小学校定例会議、小学校の運営方針など</p> <p>小学校との関係</p>
<p>新潟市の重点に関する内容</p>	<p>新潟市の重点に関する内容</p> <p>身の回りの生活について、自分でできること</p> <p>大まか</p>
<p>具体的な活動</p>	<p>毎日の生活に「何となく」関わりながら生活</p> <p>新しい人との関わりを育てていく</p> <p>身近な文字物の観察や記録(観察・調べ・整理)</p> <p>自分から進んで話をする</p> <p>自分から進んで話をする</p> <p>自分から進んで話をする</p>
<p>小学校・他園との交流活動</p>	<p>小学校との関係</p>
<p>行事等(親子行事)</p>	<p>給食会、運動会、保護者懇話会、園遊会、園外活動、園外学習、園外研修、園外体験、園外学習、園外研修、園外体験</p>
<p>小学校・他園との連携 保護者との連携</p>	<p>連携のやり取り</p> <p>給食の準備</p>
<p>新建第一小学校職員間連携</p>	<p>新潟市立第一小学校との関係</p>

検討後



<p>成長を自覚し、小学校生活に期待をもつ。 【2 自立心、社会生活との関わり】</p>	<p>行事等の計画</p> <p>小学校定例会議、小学校の運営方針など</p> <p>小学校との関係</p>
<p>新潟市の重点に関する内容</p>	<p>新潟市の重点に関する内容</p> <p>身の回りの生活について、自分でできること</p> <p>大まか</p>
<p>具体的な活動</p>	<p>毎日の生活に「何となく」関わりながら生活</p> <p>新しい人との関わりを育てていく</p> <p>身近な文字物の観察や記録(観察・調べ・整理)</p> <p>自分から進んで話をする</p> <p>自分から進んで話をする</p> <p>自分から進んで話をする</p>
<p>小学校・他園との交流活動</p>	<p>小学校との関係</p>
<p>行事等(親子行事)</p>	<p>給食会、運動会、保護者懇話会、園遊会、園外活動、園外学習、園外研修、園外体験</p>
<p>小学校・他園との連携 保護者との連携</p>	<p>連携のやり取り</p> <p>給食の準備</p>
<p>新建第一小学校職員間連携</p>	<p>新潟市立第一小学校との関係</p>

自園化に向けて修正したカリキュラムを基に実践を行い、「援助」や「環境構成」について検証する。

		かかわる力の基盤づくり												学びの芽生え								
		9月			10月			11月			12月			1月			2月			3月		
幼稚園教育要領 保育所保育指針 幼児連携型認定こども園 教育・保育要領 より		【幼児期に育みたい3つの資質・能力】 【幼児期の終わりまでに育ってほしい姿】 1 健康な心と体 2 自立心 3 協同性 4 道徳性・規範意識の芽生え 5 社会生活との関わり 6 思考力の芽生え 7 自然との関わり・生命尊重 8 数量や図形、標識や文字などへの関心・感覚 9 言葉による伝え合い 10 豊かな感性と表現												【3つの資質・能力】 知識及び技能 思考力、判断力、表現力 学びに向かう力、人間性等								
新潟市の重点	子どもの姿	1年生になることに期待をもち、園生活を楽しみ、成長を自覚する。																		学校に対する安心感をもち、先生や友達と仲良くする。		
	経験してほしい重点内容	友達に気持ちを伝え、遊びを進める。 目的をもち、友達と互いに思いや考えを伝え合い、遊びを進めることを楽しむ。																		自分の力を発揮しながら協力して学習や活動に取り組む。		
	互いの思いや考えを共有したり、折り合いを付けたりする。 【3 協同性、4 道徳性・規範意識の芽生え】	友達と思いを出し合いながら協力して遊びに取り組み、充実感を味わう。 自分で考えたり友達と声をかけ合ったりして時間を意識しながら生活しようとする。 友達と一緒に遊ぶ中で思い通りにならなくても気持ちを切り替えて遊んだり、トラブルになっても折り合いを付けたりしようとする。 クラスの友達と修了、卒園に向かって考えたり工夫したりしながら気持ちを共有し、活動する。																		きまりを守る必要性が分かり、友達と折り合いを付けながら決まりを作ったり守ったりする。 学校生活の中で、自分の気持ちを調整し、折り合いを付ける。		
	意思表示ができるとともに、言葉を通して思いを伝え、相手の言葉を理解する。 【9 言葉による伝え合い】	友達（グループ）と同じ目的をもって取り組む中で、自分なりのイメージを言葉で表現したり、教師や友達の話の聞いたりして課題を乗り越えようとする。 自分の思いや考えを友達に分かるように話したり、友達の話の聞いたりして理解しようとする。 園での楽しかったことや小学校へ行ったら楽しみなことを周りの人と伝え合う。																		新しい友達や先生と心を通わせる中で、自分の思いや考えを相手に分かるように話したり		
	成長を自覚し、小学校生活に期待をもつ。 【2 自立心、5 社会生活との関わり】	生活習慣の確立や生活のリズムを整え、小学校生活への見通しをもつ。 行事等の参観に来た小学校職員と顔見知りになることを喜ぶ。 小学生との交流を通して、小学校に対して親しみや憧れをもつ。 小学校を訪問し、小学校の環境を知る。 小学校を訪問し、小学校の環境を知る。 自分のことができるようになった成長や自立を自覚し、自信をもつ。																		自分でできることは自分でしようとする。 学校や地域の人に親しみをもち、進んでかかわる。		

新潟第一幼稚園（教師の姿勢）	互いの思いや考えを共有したり、折り合いを付けたりする。 【3 協同性、4 道徳性・規範意識の芽生え】	<ul style="list-style-type: none"> 子どもたち同士で声を掛け合う姿や力を合わせる姿を見守ったり、自分たちで進んでいく楽しさが味わえるような状況づくりや言葉掛けをしたりする。 周りの友達に気付けたり、分からないところは自分で友達に聞いたりできるように支え、目的に向かって最後までやるうとする気持ちをもてるようにする。 友達のよさを見付けたり、受け入れたりしている時には、その態度その子どものよさを認め、価値付けをする。 周りの状況を感じ、自分で気付いて行動できるように、生活の見通しをもてるような視覚教材を工夫する。 子どもと一緒に一日の生活の過ごし方を組み立てる機会を設ける中で、時計を意識をもてるように「時計」を取り入れる。時計や視覚教材を取り入れることで、一日の生活に見通しをもち、自分で気付いて行動できるようにする。 時計を意識して生活できるように、自分で考えて進めていけるように、遊びや活動の終わりの時間を事前に知らせる。また、朝集まる時間を取り入れ、椅子に座って話を聞く経験を取り入れる。 勝敗のある遊びでは、負けた悔しさが言葉や態度に表れることがあっても、友達を傷つけていないときには、あえて見守り、全体へ言葉掛けをしていくことで、自分で気持ちを切り替えたり、友達に支えられて気持ちを切り替えたりできるような状況づくりをする。 	<ul style="list-style-type: none"> 遊びや引継ぎ後に振り返りの時間を設けることで、うまくいったことや困ったことをクラスで共有し、自分の思いを伝えたり、分からないことを伝え合える状況や友達の考えに触れたりする機会にする。 ルールのある遊びをする中で、教師は出すぎず、最低限のルールのみを伝えることに留まる。その中で、作戦をどうするのか、必要なルールは何か、どのように時間を決めるといった、子どもたちで必要感から考えていけるような投げ掛けをする。 幼稚園生活を振り返りながら、「どんなところが楽しかったのかを教師も全身で表現することで、子どもが話だけでなく友達と顔を覗き合わせたり、表現したりするきっかけをつくる。 集まる時間を子どもたちに知らせ、時間を意識して行動したり椅子に座って話を聞いたりするよう生活リズムをつくる。 生活の中で、時計を参照したり、前もって行動に移したりすることができるように言葉掛けをするタイミングを工夫する。 一日の生活を前日の降園時に子どもと一緒に組み立てる時間を設ける。時間を決めるときには、子どもが意識できるように、視覚教材（文字や時計）準備することで、時計を見て行動できるようにする。 	<ul style="list-style-type: none"> 一人一人の話をじっくり聴き、思いを受け止める。 友達を思いやる姿を認め、みんなに伝える。 力を合わせて学習に取り組む姿を大いに認める。 真実に学習に取り組む姿や楽しみなことから活動する姿を認める。 自己発覚が得意な子ども、子どもの姿に基づき、個別対応に活動を組み立てる。 学校にはきまりがあることを伝え、なぜそのようなきまりが必要なのかを伝える。 きまりを守る姿を認め、しっかりと価値付ける。 いざこざは、子どもを成長させるチャンスと捉え、当事者同士の話と子どもの思いをしっかりと聴く。 子ども同士が納得できるように、子どもの意見を一つ一つサポートする。
	意思表示ができるとともに、言葉を通して思いを伝え、相手の言葉を理解する。 【9 言葉による伝え合い】	<ul style="list-style-type: none"> 話作りなどを取り入れ、必要に応じて話や場面を整理したりすることで、友達と話を作り上げていく面白さを味わえるようにする。 友達の言葉や動きに対して自分なりの言葉や動きで表現する一人一人の姿を価値付けていく。 自分の思いを伝え合うことで、考えや思いがぶつかる時や考えがずれ違ふ時には、自分で言葉を使い換えたり、相手分かるように伝えたりできるような仲介を工夫する。 自分の考えや思いを伝えて遊びを進めるだけでなく、友達の考えを聞くことで楽しさや面白さに気付けるようにする。 	<ul style="list-style-type: none"> 異年齢児との関わりも含め、相手に伝えるために分かりやすい言葉を選んで使ったり、相手の反応を見ながら話したりできるように、相手の様子に気付けるような投げ掛けをする。 文字や数に興味をもてるような環境を準備し、言葉遊びや逆さ言葉、しりとりをしながら、自分で考えて言葉にする。 	<ul style="list-style-type: none"> 一人一人の子どもの個性や特徴を、観察を通して把握する。 子どもの思いや言葉を教師がしっかりと受け止める。 子どもの思いを教師が全体に届け、共有する。 子どもが友達の話をしっかりと受け止める姿を認め、全体で共有する。 意思表結が苦手な子どもに対しては、無理をさせないようにする。 園にでも苦手なことがあることを全体で共有する。 言葉以外の意思表示の仕方があることを伝える。
	成長を自覚し、小学校生活に期待をもつ。 【2 自立心、5 社会生活との関わり】	<ul style="list-style-type: none"> 少し難しいことや初めてのことにちもやってみようとする機会をつくる。 子どもの姿容を捉え、随時認め、価値付ける言葉掛けをししたり、励ましたりする。 小学校職員や小学生を身近に感じられるような投げ掛けをししたり、関わるることができる状況や機会を設けたりする。 	<ul style="list-style-type: none"> 自分でどうしたらよいか考えられるような状況づくりや言葉掛けをする。 周りの様子やしていること、話していることに気付かせ、自分事として考えられるきっかけをつくる。 その子どもの考えや考えたこと、やろうとしていることを認める。 幼稚園生活を振り返りの中で、自分自身の心身の成長に留まらず、保護者の存在、友達の存在、他にも自分の周りにはたくさんの方がいて支えてくれていると少しだけでも感じ、感謝の気持ちを感じたり、考えたりすることができる機会を設ける。 幼稚園生活を振り返る機会を設けることで、自分が支えられてきたこと、自分でできるようになったことなど自分自身の成長を感じられるように、写真を準備することで視覚化する。 生活や遊び、行事なども振り返ることで、一人一人が園生活の思い出を出し合える機会をつくる。 	<ul style="list-style-type: none"> 6年生の支援を受けながら、給食の支援をする。 教師と一緒に学習の支援をする。 自分から進んで園の支援をする。 学習の準備を自分で行う。 一緒に通学するお兄さんやお姉さん、友達に挨拶をする。 一緒に通学するお兄さんお姉さん、友達に自分から挨拶をする。 学校で会う人や地域の方に自分から挨拶をする。

新潟第一幼稚園（重点内容）	集団遊び ○ 気持ちを切り替える。 ○ 気持ちに折り合いをつける。	<ul style="list-style-type: none"> 勝敗を経験し、気持ちを出す。 → 教師や友達に支えられて気持ちを切り替える。 → 自分で気持ちを切り替えて、繰り返し挑戦する。 相手の気持ちを考える。 → 一人一人の頑張りを知り、応援する。 → 相手の気持ちを考え、自分のできることをする。 得意なことや不得意なことがあることを知る。 → 得意なことや不得意なことがあることを認め合い、力を合わせて取り組む。 	
	話す・聞く ○ 自分の考えや気持ちを伝える。 ○ 相手の話を最後まで聞く。	<ul style="list-style-type: none"> 椅子に座って話を聞く。 考えや気持ちを相手に意識して伝える。 → 相手に分かるように伝える。 → 相手の考えを聞いて、さらに自分の考えを伝える。 相手の話を聞く。 → 分からないことがあった時に友達や教師に自分から聞く。 → 相手の話を最後まで聞く。 しりとりをする。 → スリーヒントゲームをする。 → 言葉遊び（早口言葉や逆さ言葉など）をする。 → 伝承遊びをする。 	
	生活の見通し ○ 時間に見通しをもつ。 ○ 見通しをもって行動する。	<ul style="list-style-type: none"> 時計の針に気付く。 → 時計の針を見て、行動する。 → 時計の針を見て、考えて行動に移す。 → 時計の針を見て、自分から行動に移す。 → 見通しをもって、必要な物を準備したり、行動したりする。 「長い針が○になったら片付けをするよ。」 → 「長い針が○になったら集まるから、今のうちに片付けをするよ。」 → 「長い針が○になったら集まるためには、長い針がどこになったら、片付け・トイレ・座るまでの行動が間に合うのかな？」 → 「長い針が○になったら、始めるよ。」 → 「（長い針が○になったら）おはようございます。」 給食を40分で食べようとする。 → 給食を30分で食べようとする。 	

☆小学校・他園との連携と交流活動	小学生との交流（小学校の場や児童・先生に親しみがもてるように）	近隣園との交流（地域の同年齢の友達に親しみがもてるように）	小学校体験入学（1年）（小学校入学に期待が膨らむように）	6年生サポート（給食の準備） 縦割り班の活動（清掃等）
☆新潟第一小学校職員間連携	合同運動会打ち合わせ・振り回り	幼稚園研究保育・協議会 なかよしランド打ち合わせ・振り回り	幼稚園研究保育・協議会 なかよし集会打ち合わせ・振り回り	校内・園内研究全体会 運動会 低学年・年長組競技打合せ

◎保護者との連携	学級懇談会（生活習慣面） 就学時健康診断での交流	個人懇談会（就学に向けて）	学級懇談会（生活習慣面）	合同研修会（第一幼稚園） 入学後情報交換（必要範囲のみ） 保護者ボランティア（登下校等）
----------	-----------------------------	---------------	--------------	--

行事等 （〇園行事◎親子行事☆小学校との交流活動）	<ul style="list-style-type: none"> 始業式 発育測定 誕生会 音楽リズム ☆運動会 園外保育 商店街訪問 	<ul style="list-style-type: none"> ◎保育参観 学級懇談会 いも掘り、収穫 誕生会 秋葉山歩き遠足 ☆作品展（幼小合同） 	<ul style="list-style-type: none"> ・誕生会 ◎フリー参観 	<ul style="list-style-type: none"> ◎年長生活発表会 誕生会 クリスマス会 大根収穫 ◎もちつき会 個人懇談会 終業式 	<ul style="list-style-type: none"> ・始業式 誕生会 ◎保育参観 学級懇談会 ☆ここ小連携公開保育 交通安全教室 ☆なかよし集会（R2一幼のみ） ・豆まきの会 誕生会 なかよし給食 ◎年中生活発表会 ◎年少生活発表会 	<ul style="list-style-type: none"> ◎雛人形を観る会 誕生会 ・ありがとうの会 ◎修了式 ◎終業式 ◎離任式 	<ul style="list-style-type: none"> ◎入学式 ・1年生を迎える会 ◎運動会
------------------------------	--	---	--	---	---	---	---